

学校運営協議会 第2回会議 議事録

日 時：令和4年9月29日(木) 午後1時30分～3時30分

場 所：浜松湖北高校 佐久間分校 グラウンド・会議室

出席者：委員 坂口 健 様 校長 大澤 貢

委員 大見拳也 様 副校長 望月俊和

委員 坪井俊介 様 教 頭 奥村友介

※邑瀬委員は欠席

【開会】

1 体育祭見学(グラウンド)

2 校長挨拶

3 議事

(1) 佐久間分校の学習活動

〔事務局説明〕・学校設定教科「地域」に関する学習活動について

(第1回会議において進学を目指す類型(文系・理系)も「地域」を履修できないかという意見があったことを受けての対応案)

・生徒一人一台端末を用いた授業について

《委員質問・意見》

(「地域」のカリキュラムについて)

・「地域」での担当授業も単発的な傾向がある。静岡文化芸術大学の教員による授業との役割分担を明確にしたい。また、関係者全員で年間(指導)計画を作れるとよい。

(事務局)その方向で考えていきたい。

(進学類型での履修について)

・授業として組み込むには困難な点が多いのは理解できる。そこで、地理などの関連する科目で年間に1日でもよいので、フィールドワーク等を設定できればと思うがいかがか？

(事務局)可能ではないか。過去にも同様な取り組みがある。

(一人一台端末について)

・自分の業務でもジャムボードを使用している。iPad等タブレットを利用することもあるが、実際にはほとんどが(キーボードがついた)パソコンでの作業となる。生徒が使用する端末は(タブレットでなく)パソコンが望ましい。

(事務局)クロームブックを使用する予定である。

(その他関連して)

・国公立大学の指導は個別指導となるだろうが、3～4教科で受験できる大学もあるので、生徒に紹介し、科目を絞らせてみてはどうか。

(2) 令和5年度入学生の居住地について

〔事務局説明〕啓成寮の受入れ状況について

下宿確保の問題について

《委員質問・意見》

(事務局より) アパート等、良い情報があれば教えていただきたい。

- ・水窪にはアパートがあるが、市職員が入っているので難しい。空き家はあるが。
- ・中部地区には何軒か使われていない住宅がある。状況について詳しい方がいる。空き家情報もある。

(事務局) 同居だと難しい面があると思う。空き家なら可能性がある。

下宿確保に御協力をお願いしたい。

- ・地元生徒の進学希望状況はどうか？

(事務局) 1日体験入学には佐久間中9人、水窪中5人、東栄中3人が参加した。

なお、佐久間中と水窪中は交流授業を実施しているため、本校教員と生徒が顔見知りである。

- ・他地区と合わせて30人位の規模になるか？

(事務局) 学校見学は30人程度であるが、実際の受験者数は厳しいと思う。

- ・寮があるのは大きい。活躍の場が確保できるという点で、大規模校を敬遠し、少人数教育を魅力的に捉える保護者も多くなってきているのではないか。

(3) 地域活性化の取組と佐久間分校のかかわりについて

〔事務局説明〕 地域活性化にかかわる佐久間分校の活動状況について

《委員より「ダム際ワーキング」の説明》

- ・企業に佐久間の地に来てもらい、普段と違う環境で仕事等ができる場を提供できればと考えている。

協力者とともに進めており、本年度、観光庁より補助をいただいている。

企業と生徒・地域を結び付けることにより、地域の活性化につなげたい。

- ・モニターツアー、プロモーション、場所の整備を考えている。

本年度は12月、1月にツアーを実施する。これを機に企業の方と高校生が交流できる場があればと考えている。

生徒がツアーガイド研修を受けることにより、実際に生徒がツアーのガイドを務める構想もある。

(校長) 生徒主体となる活動をお願いしたい。

(4) その他

《委員より》

- ・大学進学を目指す生徒や保護者に対して、奨学金制度などについて説明することができるので、相談があれば協力したいと思う。

4 その他

- ・第3回以降の予定について

第3回は11月7日(月)又は11日(金)に予定している。

本校の生徒指導や校則、安全対策等について御意見をいただきたい。

第4回は2月上旬開催の予定である。

- ・30km競歩について

【閉会】